

邦楽 vol.18

入場料
1,000円



舞踊集団宮坂流

総合フェスティバル

呉市春の文化祭

日時 ▶ 令和8年3月15日(日) 開場9:30
10:30~16:30

会場 ▶ 呉信用金庫ホール
呉市中央3丁目10-1 Tel. 0823-25-7878

チケット
取り扱い

- ・呉信用金庫ホール
- ・新日本造機ホール
- ・イオン広店
- ・各出演団体

出演団体(プログラム順)

- 10:30 →
- 和楽器のサングル 組曲人形風土記(長沢勝俊/作曲) 奏山プロデュース 井坂雅浩 他
 - 構成吟 幼少年向けはじめての吟詠
(書道吟入り) 現代詩「私と小鳥と鈴と」・童詩「浦島太郎」・他二題 吟道九嶺流 園田華嶺 他
 - 邦楽 音の玉手箱(水川寿也/作曲) 呉三曲会 日當鶴山 他
 - 大正琴 思い出のアルバム・贈る言葉・浪花節だよ人生は
..... 琴伝流大正琴「琴響会」 奥迫久美子 他
- 11:30頃 →
- 民謡 歌おう・踊ろう音戸の舟唄 音戸の舟唄保存会 新谷吉章 他
 - 舞踊長唄・端唄 千代の寿・藤娘・木遣りくずし 白鳥会 藤本秀澄敏 他
 - 民謡 広島瀬戸節・御手洗節・小倉節・
秋田おばこ・神津節・とうろう 本條流本條秀芸賞会 本條秀芸賞 他
- 12:30頃 →
- 箏曲 春の詩集(牧野由多可/作曲) 琴鳳会 菊鳳千聖子 他
休憩
 - 仕舞 敦盛・八島・桜川クセ 喜多流呉粟谷会 呉観世会 梶梅小由美 他
 - 小唄 雪月花 寿以香会 本木寿以香 他
- 13:30頃 →
- 地歌 夕顔(菊岡検校/作曲) 呉邦楽八人の会 宮岡篁仙 他
 - 日本舞踊 都鳥・春はあけぼの 西上流紅梅会 西上流白菊会 西上竜由信 他
 - 日本舞踊 長唄 たぬき 藤和会 藤間龍之祐
- 14:30頃 →
- 日本舞踊 子供たちが踊る花ごよみ 佳雅京の会 花柳惟結佳 他
 - 日本舞踊 大和楽 おせん 杉蘭会 花柳杉蘭
休憩
- 15:30頃 →
- (ゲスト) 絃が裂く風、舞が描く魂 -津軽三味線と舞踊の共鳴-
舞踊集団 舞踊集団宮坂流 宮坂一樹 他

※出演団体・演目や予定時刻は変更になる場合があります。ご了承ください。

主催 / 呉市・呉市文化団体連合会
 主管 / 呉文連邦楽総合フェスティバル運営委員会
 お問い合わせ / 呉市文化スポーツ部文化振興課…0823-25-3519
 呉文連邦フェス運営委員会事務局…090-4142-1010

PROFILE



■大会の主な賞

- ・公益財団法人日本民謡協会主催
民謡民舞全国大会
「準優勝」「文部科学大臣賞」
「東京都知事賞」そして「内閣総理大臣賞」受賞
- ・公益財団法人日本民謡協会主催
民謡民舞少年少女全国大会「優勝」受賞
- ・一般財団法人日本郷土民謡協会主催
郷土民謡民舞全国大会「内閣総理大臣賞」受賞

■TV 出演歴

- ・NHK 紅白歌合戦
- ・二人のビックショー
- ・木曜8時のコンサート
- ・わが心の大阪メロディー
天童よしみ「道頓堀人情」中継
- ・BS 日本の唄
- ・民謡民舞今フェス
- ・TBS 日本レコード大賞

舞踊集団宮坂流

昭和46年、岡山県津山市で宮坂身志氏によって設立されました。銭太鼓を中心に傘踊り、日本舞踊、民舞などの基本を守りながら、音楽・衣装・化粧に工夫を加え、多くの方々に楽しんでもらえるように現代風にアレンジしています。そのうえ、スピードとアクロバットの面白さに加味し、伝統文化の良さに加え、新しい生命を吹き込んだ踊りは伝統文化の進化と言われています。また、令和3年、二代目へと代替わりをした際に、宮坂流津山銭太鼓保存会から舞踊集団宮坂流へと改名しました。

舞踊集団宮坂流宗家 宮坂 身志

昭和25年岡山県津山市生まれ。昭和46年に宮坂流津山銭太鼓保存会を設立。昭和50年に第一回宮坂流チャリティー公演を開催。昭和56年に日本舞踊、藤間流の名取をとる。平成7年民謡貢献章受章。平成13年第二回岡山県芸術文化賞「特別賞」受賞（岡山知事賞）平成18年民謡功労章を最年少で受章。平成19年民舞教授。その後、少年少女民謡民舞指導員の資格を取得。平成21年海外の人との伝統文化交流の為に日本郷土芸能交流協会を発足。令和4年 令和4年度「文化庁長官表彰」受賞。



舞踊集団宮坂流二代目 宮坂 一樹

岡山県津山市出身
兄弟の影響により1歳の頃より宮坂流で初舞台を踏む。その後紀乃元瑛師に日本舞踊の手ほどきを受け、2001年(当時4歳)にフランスのジャパンウィークに出演。2012年民謡民舞少年少女全国大会で優勝。翌年2013年民謡民舞全国大会で文部科学大臣賞、内閣総理大臣賞を受賞。
中村美律子、氷川きよし、天童よしみ、神野美伽、福田こうへい、三山ひろし、純烈、ももいろクローバーZ、AKB48など、様々なアーティストと共演を果たす。
2021年舞踊集団宮坂流二代目家元を襲名。
現在では伝統芸能の魅力、宮坂流の魅力を伝える為に「実project」というprojectを展開している。



三味線奏者 中村 卓也

兵庫県姫路市出身。沖縄の伝統芸能「エイサー」を一歳より始め一歳半で初舞台に立つ。三味線、和太鼓を祖父中村泰三に師事。民謡鳴り物を美鵬流囃子方家元美鵬直三朗氏に師事。津軽三味線を三絃小田島流二代目小田島徳旺氏に師事。全国に活動の幅を広げ、全国規模の大会に多数出場し、相次いで制覇した。近年では日本一部門での優勝に加え、唄付抽選曲部門での三度目の優勝を果たし史上最年少でのダブル受賞を獲得。



協賛 書道展

フェスティバル当日(3月15日)、会場エントランスホール・ホワイエにおいて協賛 書道展を開催します。開場時刻を9時30分とし、途中の休憩時間を15分間としています。この機会にご鑑賞賜りますようお願い申し上げます。

呉市書道協会理事長 重本天空
副理事長 金谷雷聲
副理事長 松岡媛風
3名の屏風作品を展示。